



女子団体予選リーグ・富岡東対広 果敢に攻め込む富岡東の先鋒
・鳥澤(右) 〓高知県立春野総合運動公園体育館(岡野将大撮影)

富岡東、予選Lで姿消す

剣道 女子団体

剣道団体女子の富岡東は6日の予選リーグH組で1勝1敗の2位に終わり、四国インターハイの舞台から姿を消した。ベスト16に進出した昨夏以上の成績を目指したがかなわず、3年生たちの目から涙があふれた。

広(広島)との第1戦はいずれも3年の先鋒(せんぼう)鳥澤、次鋒嶋田が相次ぎ一本勝ちして波に乗り、大将谷村も手堅く引き分けて先勝。だが、1勝同士で迎えた甲府商(山梨)との第2戦は精彩を欠いた。

鳥澤が微妙な判定後に一本を取られ、嶋田も分けて取り返せなかった。大将谷村は2本のメンを奪われ万事休す。「気持ちの弱さが出てしまった」と、嶋田と谷村は悔しそくに振り返った。

ただ、先輩らの16強を超えようと、部員全員で積んできた研さんの証しは見せた。鳥澤は前日の個人戦で2勝。全国大会の個人戦で勝つのは初めてだった。

一本勝ちを収めるなどチーム力の底上げも感じさせた。鳥澤は「みんなやってきたことは間違っていない。来年こそ予選を突破し、さらに上を目指して」と、後輩たちに目標を託した。

(平尾貴宏)

と、岩

剣道女子団体予選

